

サプライ・チェーン基本分析システムSCBAS

- データ入力や結果出力、地図や図の操作方法、表の操作方法などは「Streamlit操作方法.pdf」を御覧ください。
- リファレンスマニュアルも合わせて御覧ください。
- 導入コンサルティングやユーザーの要望に応じたカスタマイズやAPI提供が可能です。必要な場合、お問い合わせください。

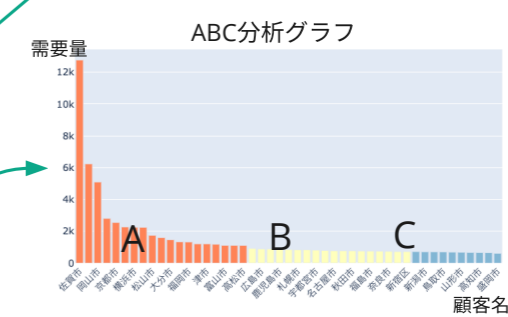
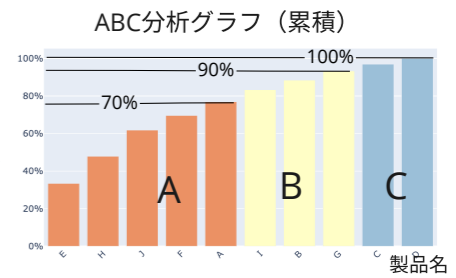
データ作成時の注意点:列の名前はサンプルと同じにする必要がある.列の省略不可.

製品版は正規分布でない需要も対応可能である。(要相談)

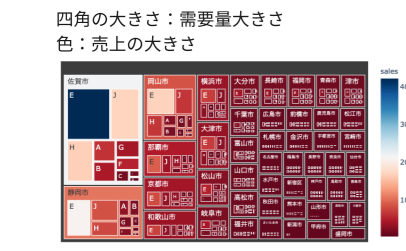
・カンマ区切りで入力する.  
・任意の数の閾値の区切りが追加可能である.

累積値のABC分析を行う場合チェック

売上や他の項目に対して分析する場合, demandの部分が他の項目に変わる.  
行の名前: 製品名  
demand: 需要量  
rank: ランク (需要量大きいほどランク番号は小さい)  
abc: abc分類の値  
cumsum\_prod: 累積需要量 (パラメータ「累積」選択した場合)

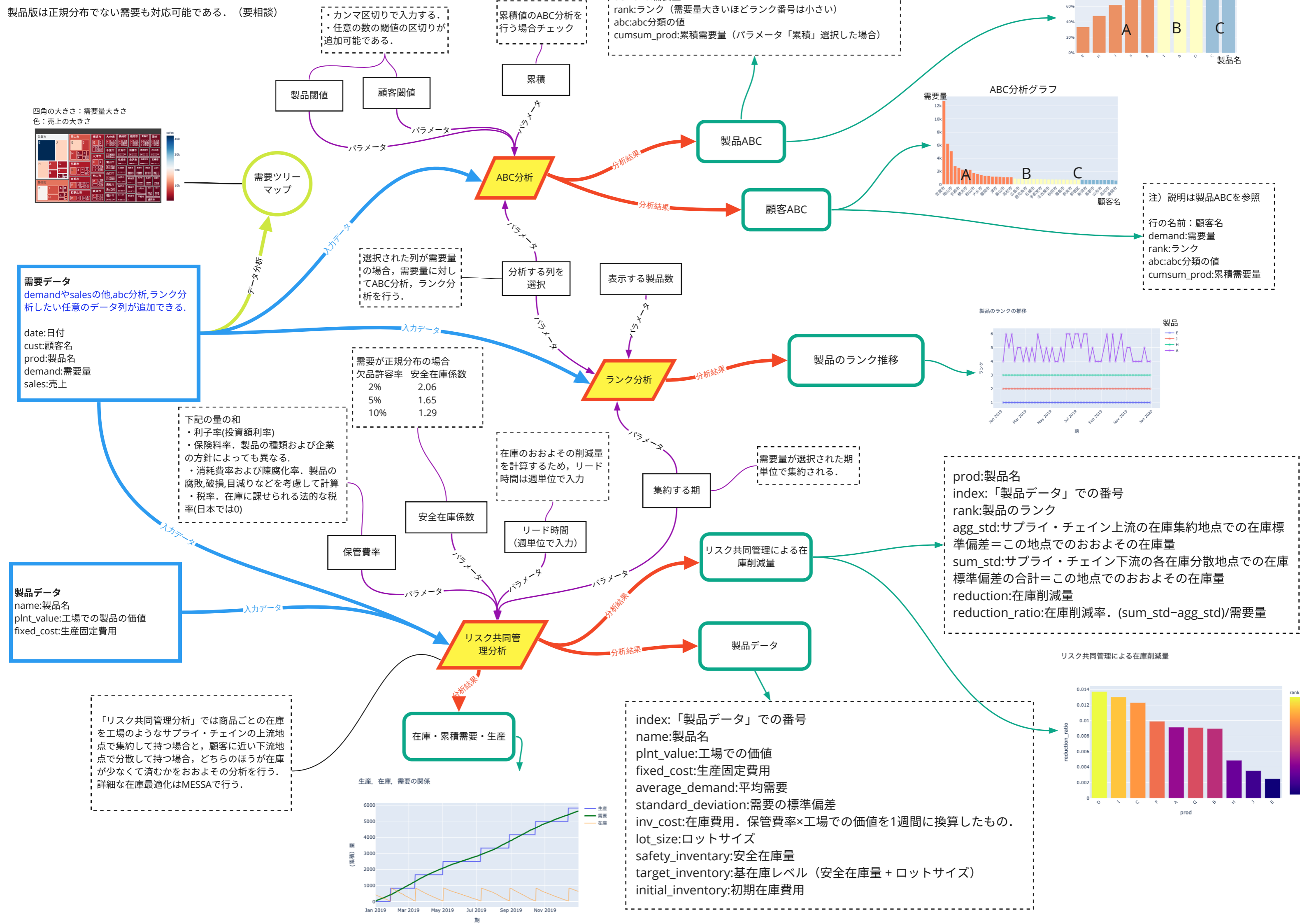


注) 説明は製品ABCを参照  
行の名前: 顧客名  
demand: 需要量  
rank: ランク  
abc: abc分類の値  
cumsum\_prod: 累積需要量



**需要データ**  
demandやsalesの他, abc分析, ランク分析したい任意のデータ列が追加できる。  
date: 日付  
cust: 顧客名  
prod: 製品名  
demand: 需要量  
sales: 売上

**製品データ**  
name: 製品名  
plnt\_value: 工場での製品の価値  
fixed\_cost: 生産固定費用



需要が正規分布の場合

欠品許容率	安全在庫係数
2%	2.06
5%	1.65
10%	1.29

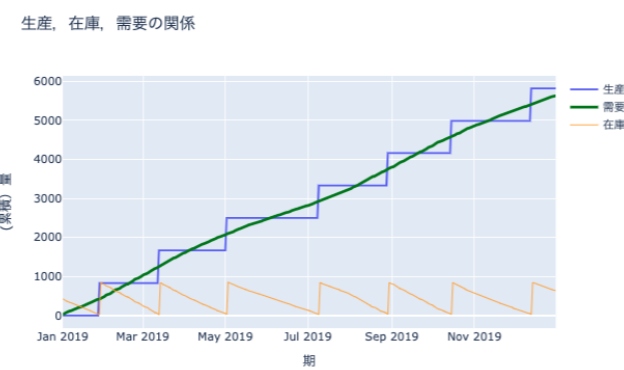
下記の量の和  
・利子率(投資額利率)  
・保険料率、製品の種類および企業の方針によっても異なる。  
・消費費率および陳腐化率。製品の腐敗、破損、目減りなどを考慮して計算  
・税率。在庫に課せられる法的な税率(日本では0)

在庫のおおよその削減量を計算するため、リード時間は週単位で入力

需要量が選択された期単位で集約される。

prod: 製品名  
index: 「製品データ」での番号  
rank: 製品のランク  
agg\_std: サプライ・チェーン上流の在庫集約地点での在庫標準偏差はこの地点でのおおよその在庫量  
sum\_std: サプライ・チェーン下流の各在庫分散地点での在庫標準偏差の合計はこの地点でのおおよその在庫量  
reduction: 在庫削減量  
reduction\_ratio: 在庫削減率。(sum\_std - agg\_std) / 需要量

「リスク共同管理分析」では商品ごとの在庫を工場のようなサプライ・チェーンの上流地点で集約して持つ場合と、顧客に近い下流地点で分散して持つ場合、どちらのほうが在庫が少なくて済むかをおおよその分析を行う。詳細な在庫最適化はMESSAで行う。



index: 「製品データ」での番号  
name: 製品名  
plnt\_value: 工場での価値  
fixed\_cost: 生産固定費用  
average\_demand: 平均需要  
standard\_deviation: 需要の標準偏差  
inv\_cost: 在庫費用。保管費率×工場での価値を1週間に換算したもの。  
lot\_size: ロットサイズ  
safety\_inventory: 安全在庫量  
target\_inventory: 基在庫レベル(安全在庫量 + ロットサイズ)  
initial\_inventory: 初期在庫費用

